

中社

奥社と宝光社の間に位置する中社では、知恵の神様である八意思兼神が祀られています。中社の社殿では、宝光社のように月に一回神楽が演じられる舞台があります。舞台の上には、19 世紀の古河藩（現在の茨城県）の武士の息子であり、日本初の風刺画家でもある河鍋曉斎によって描かれた「龍の天井絵」があります。また中社の敷地内にある宝物殿では、奈良時代と平安時代の重要な文化財が数多く展示されています。

中社は多くのスギの木に囲まれており、スギの木の一部は樹齢 700 年以上と推定されています。またこれらに加えて、「戸隠の三本杉」もあります。これらの三本杉は樹齢 800 年以上と考えられており、この三本杉は、中社境内にある木製の鳥居を中心に正三角形の配置で立っています。奥社の道に沿って並ぶ 300 本のスギは、この戸隠の三本杉の中から育ったものもあると言われています。